

平成20年6月25日

平成20年5月卵稚仔調査結果速報

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

1 調査日

平成20年5月7～10日

2 調査船

くろしお（260トン）

3 調査方法

図の25定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採集し、分布域、数量等を調査した。数量比較は、県西部および薩南・県東部海域における1定点あたりの平均採集等を過去の数値、5ヶ年の平均値と比較した。ただし、今回は県東部海域の志布志湾口部～種子島西の3定点は時化のため採集が出来なかった。

4 調査結果

【カタクチイワシ】

県西部海域

・卵の分布状況

甌島北では280個体と高い密度の分布が見られたが、1定点あたりの平均採集数は前年・平年を大きく下回った(平年の1/3程度)。

・稚仔魚の分布状況

甌島北では140個体と高い密度の分布が見られたが、1定点あたりの平均採集数は前年並で・平年を下回った(平年の6割)。

薩南・県東部海域

・卵の分布状況

開聞沖、黒島北東、枕崎沖で、764、1395、872個体と高い密度の分布は見られ、1定点あたりの平均採集数は前年・平年を大きく上回った(平年の約4倍)。

・稚仔魚の分布状況

開聞沖、枕崎沖では129、196個体と高い密度の分布が見られたが、1定点あたりの平均採集数は前年・平年を下回った(平年の6割程度)。

【その他のイワシ類】

マイワシの卵、稚仔魚の採集はなかった。ウルメイワシの卵は、種子島北東沖で1個体、甌海峡で2個体を、稚仔魚は甌海峡で1個体を採集した。

